

成田市自然観察会

ワクワク探検 坂田ヶ池総合公園で生きもの探し

谷 優（成田市）

日 時：2025年7月25日（金）9時～11時30分、天候：晴れ

場 所：成田市坂田ヶ池総合公園

参加者：21名（大人9名 子ども12名） 成田市環境課職員3名

担当指導員：小川、藤田、勝野、菅澤、谷

参加指導員：伊藤、宮本、内島

朝から30℃に達する厳しい暑さの観察会となりました。ニュースで農家の方は、この暑さがスタンダードと思って作物を育てる必要がある、といっていました。夏の観察会は、この暑さが当たり前と思って臨まなければならぬ時代になってきているのでしょうか。

危険な生物（スズメバチやイラガ）に対する注意を話した後、2班に分かれて出発。坂田ヶ池の水面をいろいろなトンボが飛び交っています。草が茂る休憩広場について虫捕り開始。子ども達はもちろん、保護者も夢中になって生き物探しをしました。捕った生き物は1匹ずつプラスチックケースに入れ、あとで生態系ピラミッドの時に使います。チョウ、バッタ、カエル、カミキリ、トンボの他に清水の流れる小川では沢ガニも捕ることができました。指導員に生き物の名前を聞き、「これはオオシオカラトンボだよ。」などと教えてもらい、喜んでいました。生き物探しの前後で2回水分補給を行い、また用意した塩タブレットを配って体調に気を配りました。

浮き橋の先に移動して、カモフラージュゲームをしました。赤、茶色、白、黒の4色の楊子を草の上にばらまき、時間内にどの色を何本探せるかというゲーム。保護色になっている色の楊子は見つけにくいことを実感しました。

野外の活動を早めに切り上げ、冷房の効いた管理棟に到着。思わず「涼しい。」という声が出て、生き返ったようです。捕まえた生き物を、大きな生態系ピラミッドの上に置いていきました。植物を食べる虫が圧倒的に多く、その小さな虫を食べる生き物、虫やカエルを食べる生き物とピラミッドが形成されていることを実感することができました。他に、各指導員から、ザリガニ、セミの抜け殻の見分け方、イナゴなどの話をしました。

参加者の感想

- ・昆虫をとるのが難しかったけれど、いっぱいとれて楽しかった。
- ・普段は虫が苦手だった子が、今日は虫捕りができ、とても新鮮だった。



生き物探し



たくさん探そう



生態系ピラミッド



セミの抜け殻